

平成27年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会
第1回美浜区役所部会議事録

1 日時：平成27年6月5日（金）午後2時～午後5時30分

2 場所：美浜区役所 3階 3-3会議室

3 出席者：

(1) 委員

小川 真実 委員（部会長）、横山 清亮 委員（副部会長）、小野寺 浩一 委員、
鶴岡 国良 委員、三山 勝江 委員

(2) 事務局

白井美浜区長、坂本地域づくり支援室長、須田主査、相澤主任主事

4 議題：

(1) 部会長及び副部会長の選出について

(2) 指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価について

ア 千葉市美浜区高洲コミュニティセンターについて

イ 千葉市美浜区真砂コミュニティセンターについて

(3) 今後の予定について

(4) その他

5 議事概要：

(1) 部会長及び副部会長の選出について

委員の互選により、小川委員を部会長に、横山委員を副部会長に選出した。

(2) 指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価について

ア 千葉市美浜区高洲コミュニティセンターについて

まず、平成26年度の「指定管理者評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

次に、過年度の評価結果等を踏まえ作成した「指定管理者総合評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て、事務局案を承認するとともに、次期指定管理者の選定に向けた意見を、部会として取りまとめ、決定した。

イ 千葉市美浜区真砂コミュニティセンターについて

まず、平成26年度の「指定管理者評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

次に、過年度の評価結果等を踏まえ作成した「指定管理者総合評価シート」について事務局から説明の後、意見交換を経て、事務局案を承認するとともに、次期指定管理者の選定に向けた意見を、部会として取りまとめ、決定した。

(3) 今後の予定について

議事録の公開について、事務局から説明した。

(4) その他

委員からの質問等を受け付けた。

6 会議経過：

○事務局職員 委員の皆様におかれましては、お忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。

定刻となりましたので、只今より、平成27年度 千葉市市民局指定管理者選定評価委員会 第1回美浜区役所部会を開会いたします。

私は、本日の司会を務めさせていただきます、地域振興課地域づくり支援室の須田と申します。どうぞよろしくお願いたします。

本日の会議でございますが、市の情報公開条例第25条に基づき、公開されております。ただし、一部非公開の部分はございますので、あらかじめご承知おきください。

なお、現在、傍聴人の方はいらしておりません。

それでは、初めに、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

お手元の資料「委員名簿」お開きいただけますでしょうか。上から順にご紹介させていただきます。

まず、千葉大学法政経営学部准教授の小川真実委員でございます。

○小川委員 千葉大学の小川です。よろしくお願いたします。

○事務局職員 続きます、公認会計士の小野寺浩一委員でございます。

○小野寺委員 小野寺です。よろしくお願いたします。

○事務局職員 続きます、千葉市職員OBの鶴岡国良委員でございます。

○鶴岡委員 鶴岡でございます。よろしくお願いたします。

○事務局職員 続きます、千葉市社会福祉協議会高洲高浜地区部会会長の三山勝江委員でございます。

○三山委員 三山と申します。どうぞよろしくお願いたします。

○事務局職員 最後に弁護士の横山清亮委員でございます。

○横山委員 横山です。よろしくお願いたします。

○事務局職員 どうぞよろしくお願いたします。

続きます、事務局職員をご紹介します。

白井美浜区長でございます。

○白井美浜区長 白井でございます。どうぞよろしくお願いたします。

○事務局職員 続いて、地域振興課の職員、坂本地域づくり支援室長でございます。

○坂本地域づくり支援室長 坂本です。どうぞよろしくお願いたします。

○事務局職員 私、主査の須田でございます。よろしくお願いたします。

最後に、相澤主任主事でございます。

○事務局職員 相澤です。よろしくお願いたします。

○事務局職員　それでは、開会に当たりまして、最初に白井美浜区長からご挨拶を申し上げます。

○白井美浜区長　改めまして、こんにちは。皆様方にはお忙しい中、千葉市市民局指定管理者選定評価委員会美浜区役所部会にご出席をいただきまして、本当にありがとうございます。また、日頃より美浜区関連の業務はもちろんのこと、市政各般に渡ります多大なるご支援をいただいておりますことを、この場をおかりしましてお礼申し上げます。ありがとうございます。

本日はご存じのとおり、高洲・真砂両コミュニティセンターの指定期間が最終年度を迎えており、両施設の管理運営につきまして、平成26年度の年度評価並びに過去4年間の総合評価を行いまして、次期指定管理者選定に向けてのご意見を頂戴したいということでございます。

両施設とも18年度から指定管理者制度を導入しておりまして、現在は株式会社千葉マリスタジアムが指定管理者を務めているところでございます。

昨年度につきましては、事業の充実や管理経費の縮減などについてご意見を頂戴いたしました。区役所では、これらの意見に対しまして対応できるものは速やかに対応しており、そういった中で市民サービスの向上に努めていく考えでございます。

美浜区の高齢化率は23%程度と、6区の中では4番目ですが、過去数年の高齢化の伸び率は最も高くなっております。

このように、今後も急速に高齢化が進むと予測されている中で、両施設が建設された当時とは社会情勢や区の中の情勢も大きく変わってきているということでございます。

こうした高齢者の方々は、非常に学習意欲が旺盛でございまして、公民館やコミュニティセンターなどで活動を活発に行っておりますし、また、美浜区民の方々は、6区の中でも意識の高い方が多く、そういった意味では、施設が有効に使われております。

こういった中で、コミュニティセンターの今後の果たす役割というのは、従来にも増して重要になってくるものだと思っております。こうした時代の変化や市民ニーズの変化を行政側も的確に捉えながら、柔軟に今後対応していかなければいけないと考えてございます。

本日は、ぜひとも皆様方の豊富な知識、経験をもとに、忌憚のない意見をいただきますとともに、今後の指定管理のあり方等も含めてご意見をお伺いさせていただければと思います。また、本日の会議は二つの施設がございまして、時間的にも長くなると思いますので、効率的な会議の運営にもご協力賜りたいと思います。どうかよろしく願いいたします。ありがとうございます。

○事務局職員　それでは議事に入ります前に配付資料の確認をさせていただきます。

事前にお配りさせていただいたファイルをお開きください。まず、市長から諮問書の写し、次に本日の次第、続きまして本日の席次表でございます。次に、資料1が「進行表」、資料2が「委員名簿」でございます。資料3が「美浜区役所部会で審議する公の施設一覧」でございます。資料4から5は高洲コミュニティセンター関係で、枝番を振っておりますが、資料4-1が「平成26年度指定管理者評価シート」、4-2が「平成26年度事業計画書」、4-3が「平成26年度事業報告書」、4-4が株式会社千葉マリスタジアムの「計算書類等」でございます。資料5-1が「総合評価資料」、資料5-2が「総合評価シ

ート(案)」でございます。資料6から7は、真砂コミュニティセンター関係で、枝番は高洲コミュニティセンターと同様です。真砂コミュニティセンターの計算書類等については、高洲コミュニティセンターと同一の指定管理者でございますので、高洲コミュニティセンターの中で審議させていただきます。

続きまして、参考資料1が平成23年度から25年度の3年分の「指定管理者評価シート」、参考資料2が「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例」、参考資料3が「市民局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について」です。参考資料4が「部会の設置について」です。

以上、お揃いでしょうか。不足がございましたら、お知らせください。よろしいでしょうか。

それでは、続きまして、会議の成立についてご報告いたします。

本日は全委員さんの出席となっておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第11条第7項において準用します第10条第2項に基づき、会議は成立しております。

それでは、これより議事に入らせていただきます。

なお、部会長が決定するまでの間、白井美浜区長が仮の議長を務めさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○事務局職員 では、白井議長、議事進行をよろしくお願いいたします

○白井美浜区長 ご承認いただきましたので、仮議長として、会議の進行を務めさせていただきます。

それでは、議題1の「部会長及び副部会長の選出について」に入らせていただきます。

部会長の役割といたしましては、本部会の議長を務めさせていただく他、部会の招集、議事録の承認等、部会を代表していただきます。

副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときは、その職務を代理していただきます。

まず、部会長の選出を行いたいと思いますが、「千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例 第11条 第4項」に基づき、互選により選出したいと思います。どなたか、立候補、または推薦される方はいらっしゃいますか。

○横山委員 常任委員で、これまでも当部会でご経験のある小川委員を推薦します。

○白井美浜区長 ただいま横山委員さんから、部会長に小川委員さんをとのご推薦をいただきましたが、いかがでしょうか。

(異議なし)

○白井美浜区長 異議なしということでございますので、小川委員さんを部会長に決定したいと思います。

それでは、小川委員さんに部会長をお願いいたします。

小川委員さん、部会長席に移動をお願いいたします。

それでは、ここで小川部会長さんより一言ご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

○小川部会長 只今、皆様方からのご要望を受けまして、再任という形になりました。

3期目を迎えて、自分ではいろいろと勉強したつもりではございますが、まだわからない部分がありますので、美浜区の事情に詳しい地域住民代表の皆様方のお力を借りながら、本区役所部会の進行を進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくご指導、ご鞭撻のほど、お願いいたします。

○白井美浜区長 どうもありがとうございました。

それでは、部会長さんが選出されましたので、ここで議長を部会長さんに交代したいと思います。どうも皆様、ご協力ありがとうございました。

○小川部会長 それでは、次第に従いまして議事を進行してまいります。

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

それでは、副部会長の選出を行いたいと思っております。

こちら互選により選出することとされておりますが、どなたか、立候補、または推薦される方はいらっしゃいますでしょうか。

○鶴岡委員 名簿を見せていただいたのですが、小川委員も再任で、もうお一方、再任の方がいらっしゃいます。横山委員いかがでしょうか。

○小川部会長 私も僭越ではございますが、そのように考えておりました、常任委員の職責だと思っておりますので、大変申しわけございませんが、横山委員におかれましては副部会長をお引き受けいただけると幸いです。

○横山委員 はい、お受けいたします。

○小川部会長 ありがとうございます。

他に何か意見等ございますか。

(なし)

○小川部会長 他にご意見がないようですので、異議がなければ、横山委員に副部会長をお願いいたします。

ここで横山副部会長から一言ご挨拶をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

○横山委員 只今、ご推薦いただきました横山でございます。美浜区役所部会は初めてですので、わからないことも多いかと思っておりますが、議長を補佐し、副部会長としての職務に務めていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

○小川部会長 ありがとうございます。

続きまして、議題2の「指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価について」に入らせていただきます。

まず、年度評価及び総合評価の概要について、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局職員 それではまず、指定管理者選定評価委員会による、指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価の概要についてご説明いたします。

まず、評価の目的でございますが、指定期間中の各年度終了後に履行状況の確認を行い、また、選定評価委員会へ報告をすることによって、委員の皆様からのご意見をいただく機会を設け、次年度以降の管理運営をより適正に行うため実施するものでございます。

次に、評価の方法でございますが、まず、市が現地視察・ヒアリング等を通じて行ったモニタリングの結果、指定管理者による自己評価、指定管理者からの報告書等を踏まえ、「指定管理者評価シート（いわゆる年度評価シート）」を作成いたします。

ここで、**資料4-1**をご覧ください。

評価シートの内容についてご説明いたします。

評価シートは、大きく6つの項目で構成されております。

まず、1番目に「基本情報」。2番目に主な実施事業や利用状況、収支状況などの「管理運営の実績」。3番目に、指定管理者が行ったアンケート調査の結果など「利用者ニーズ・満足度等の把握」。そして、4番目に「指定管理者による自己評価」。5番目に、市が履行状況を確認し、評価を行う「市による評価」。最後に、6番目として、委員会から答申していただいた意見を掲載いたします「市民局指定管理者選定評価委員会の意見」となっております。

さらに、委員のみなさまからのご意見をいただくにあたって、ポイントとなります「5市による評価」について、詳しくご説明いたします。

まず、「履行状況の確認」についてですが、こちらには「募集要項」、「管理運営の基準」、「基本協定書」、「提案書（事業計画書）」で定められている仕様のうち、市による定期的な確認が必要な項目を記載しています。

市によるモニタリング等により、これらの項目の履行状況を確認し、その結果を、

- ・「仕様、提案を上回る実績・成果があった」場合は3を、
- ・「仕様、提案どおりの実績・成果があった」場合は2を、
- ・「仕様、提案どおりの管理運営が行われなかった」場合は1を記載し、

3段階で評価しております。

その結果を踏まえ、「市による評価」では、

・「仕様、事業計画を超える実績・成果が認められるなど、管理運営が特に良好に行われていた」場合はSを、

- ・「概ね仕様、事業計画通りの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われていた」場合はAを、

- ・「仕様、事業計画通りの実績・成果が認められず、管理運営に関して改善を要する事項があった」場合はBとし、

3段階で評価をしております。

以上により、市で作成をした「指定管理者評価シート」と、指定管理者から提出された「事業報告書」、「計算書類等」などの資料を基に、選定評価委員会より、当該指定管理者による「施設管理運営のサービス水準向上・業務効率化の方策」、「改善を要する点」や、指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握するため、当該指定管理者の「財務状況」などに対するご意見をいただくものでございます。

最終的に、そのご意見等の中から、部会としての意見をとりまとめていただき、それを部会長より選定評価委員会会長にご報告いただいた後、委員会会長より市に対し、答申をしていただきます。

なお、答申でいただきましたご意見は、先ほどご説明しましたとおり、評価シートの「6市民局指定管理者選定評価委員会の意見」欄に記載いたします。

また、評価結果の取扱いでございますが、選定評価委員会のご意見を記載した「年度評価シート」について、市ホームページ上で公開するとともに、指定管理者による管理運営の改善・効率化に向けた取組みを促進するため、評価結果を当該指定管理者に通知いたし

ます。

次に、指定管理者の行った施設の管理に係る総合評価の概要について、ご説明いたします。

まず、総合評価とは、各年において実施しました年度評価を踏まえ、指定期間の最終年度において指定管理者選定評価委員会にて行うものであり、現指定管理者の管理業務の総括のため、評価を行うものでございます。

次に、評価の進め方でございますが、まず、過年度の評価結果等を踏まえ作成しました「指定管理者総合評価シート(案)」について事務局よりご説明させていただき、委員の皆様には、この総合評価について、「評価の妥当性」をご審議いただくとともに、サービス水準の向上、あるいは業務の効率化などの観点から「次期指定管理者の選定に向けてのご意見」を、いただきたいと考えております。

以上でございます。

○小川部会長 ありがとうございます。

只今の事務局からの説明について、何か質問等ございますか。よろしいでしょうか。年度評価の概要と総合評価の内容について、配付資料に基づいてご説明がなされたものでございます。

(なし)

○小川部会長 特に意見もないようですので、次に進行させていただきたいと思っております。

それでは、各施設の評価に移ります。まず、千葉市美浜区高洲コミュニティセンターの年度評価の説明をお願いいたします。

○事務局職員 ご説明させていただきます。

資料4-1をお開きください。

まず、1ページの「1 基本情報」ですが、指定管理者は株式会社千葉マリスタジアム、指定期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間となっております。

次に、「2 管理運営の実績」についてでございます。

まず、「(1) 主な実施事業」の「① 指定管理事業」につきましては、ご覧のとおりでございます。特に、コミュニティまつりでは、実行委員を中心に、全サークルに参加を呼びかけ、利用者全体でまつり準備を行いました。2日間で延約2万8千人が来場し、施設内でのサークルの成果発表、屋外でのダンス・演奏をはじめ、ミニ電車や昔遊びなど子どもが楽しめるスペースもあり、模擬店、フリーマーケットなどで賑わいました。

「② 自主事業」につきましては、年間で25事業が実施されており、各事業はご覧のとおりでございます。計画事業については全て実施されており、新規の事業が7事業となっております。新規事業の内訳としましては、上から、No9・12・19・20・22・23・25となっております。No5の「骨盤健康体操教室」は、地域人材を講師とした単発の講座でしたが、26年度より通年での開催となりました。No12の「スマイルピラティス」は、真砂コミュニティセンターの自主事業として好評であったことから、高洲コミュニティセンターでも新規に開催いたしました。No19・23の料理教室は、料理実習室の稼働率向上及びサークル化を目的とし、基礎から学べる講座として新規に開催されました。

また、No22の「広報映画上映会」では、千葉地方裁判所より借りた裁判員制度に関する

るビデオを上映し、学びを取り入れた事業を展開しました。さらに、No.25「落語会」では、千葉大学落語研究会による落語会を新規に開催するなど、参加者に偏らない多世代交流を意識した事業を展開しました。

次に、「(2) 利用状況」につきましては、26年度の利用者数は119,984人で、前年度比で105.7%でした。また、稼働率は47.2%と、昨年度よりも2.1%向上しております。

これは、利用者目線に立った施設運営に努めていることや、稼働率の低い諸室を利用し、多種多様な自主事業を展開していることによるものと考えられます。

次に、2ページをご覧ください。

「(3) 収支状況」につきましては、利用料金収入が計画額を上回ったため、全体の決算額は721千円の黒字となっております。

支出の内訳ですが、25年度の光熱水費が計画に対して約130万円増加し、赤字の要因となっていましたが、26年度は電気・ガスの契約形態の変更により、光熱水費を抑制することができました。しかし、サーバーの更新費用や経年劣化した印刷機のメンテナンス費用により賃借料が増加しました。

「(4) 指定管理者が行った処分の件数」、「(5) 市への不服申立て」はご覧のとおりでございます。「(6) 情報公開の状況」については、公募時の提案書の開示請求が1件となっております。

次に、3ページをご覧ください。

「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」についてでございます。

まず、「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」についてですが、1回目は、市内の全コミュニティセンター統一のアンケート調査を実施しました。

中段の「2 満足度調査結果」の表をご覧ください。調査の結果といたしましては、「普通」以上の回答が過半数を超えており、概ね良い評価をいただいております。一番下の「講座等」に関する満足度が低くなっておりますが、これは新規講座への要望が多くあったことや、周知不足への不満によるものと考えられます。

「3 意見・苦情とそれへの対応」ですが、まず、「空調設備の老朽化」への苦情に対しましては、26年度に空調設備改修工事実施設計が完成し、今年度に改修工事を予定しております。なお、工事に伴い、11月から2月までの約4か月間、休館を予定しております。

次に、「スタッフの接遇」への苦情に対しましては、接遇マニュアルを活用し、所長より全職員へ随時指導を実施しました。

次に、「施設の汚れ」への苦情に対しましては、長年の汚れについては清掃しても落ちない状況ではありますが、清掃に努めております。

2回目は、幼児室の利用者へアンケート調査を実施しました。室内装飾や知育グッズなどの玩具を購入し、以前の利用時よりも「良くなった」との回答を多くいただきました。現在、幼児室にて開催希望のありました「絵本の読み聞かせ、おゆうぎ、体操」などを自主事業として企画検討しております。

また、アンケートにより得られた主な意見・苦情ですが、「カーペットが固い、不衛生」との苦情につきましては、カーペットタイルの張替修繕を実施いたしました。

4 ページをご覧ください。

3 回目は、自主事業に関するアンケート調査を実施しました。

調査の結果といたしましては、「普通」以上の回答が過半数を超えており、概ね良い評価をいただいております。事業を知ったきっかけは、昨年度とは逆転し、千葉市の広報誌である「市政だより」よりもチラシ・ポスターの方が多くなっています。これは、1 回目のアンケートにて、周知不足を指摘されたため、チラシ・ポスターによる周知を図ったことによるものと考えられます。

次に、「(2) 市に寄せられた意見、苦情」ですが、4 件寄せられました。

まず、「民間業者広告物のマグネット使用について」の苦情に対しては、早急に撤去し、再発防止に努めることで了承を得ました。

次に、「音響機器及びカラオケ機器を更新してほしい」との要望に対しましては、今後、利用団体と協議し、検討していくこととしました。

次に、「閉館時における、空調の停止時間と駐車場の閉鎖時間が適切でない」との苦情につきましては、閉館時まで適切な温度を維持し、駐車場の閉鎖については、閉館後も余裕をもって退場できるよう対応することとしました。

次に「ロビーが暗い」との苦情につきましては、指定管理者にて蛍光灯延長アダプタを購入し、照度を上げることで対応いたしました。

次に、「4 指定管理者による自己評価」につきましては、

施設管理業務については、インターネット予約システムを活用し、施設の利用促進が図れた。

特に、幼児室について、室内の美化や装飾による安全性の向上、遊具の増設に努め、利用者から好評を得た。

維持管理業務については、市との連携により修繕を実施し、利用者サービスの維持と向上に努めた結果、利用者の満足度を高めることができた。

自主事業については、通常の利用者の妨げにならないように日程調整し、特定の年代に偏らないような企画を実施するとともに、新規企画を実施した結果、計画以上の実績を上げることができた。

と自己評価しております。

次に、「5 市による評価」ですが、評価は、3 段階評価の真ん中であります、「A」といたしました。

理由としましては、管理運営については事業計画どおり実施されていたこと、市や併設施設と連携し老朽化した施設の円滑な工事の実施に努めたこと、利用者ニーズに応じた多種多様な事業を展開したことによるものでございます。

「履行状況の確認」につきましては、ご覧のとおりでございます。

履行状況欄の点数を3点とした項目の主なものとして、まず、「(1) 市民の平等な利用の確保 施設の適正な管理 その他市長が定める基準」の5 ページ上、「モニタリングの考え方 年2回利用者アンケートの実施」がありますが、年3回のアンケートを実施し、アンケート結果を活かした施設運営及び自主事業の実施に努めていることから、評価を「3」としております。

その3つ下、「施設使用後のアンケートの実施」では、鍵の受渡しの際に「施設利用報

告書」を配布し、常に利用者から意見を得られる体制をとっていることから、評価を「3」としております。

その5つ下、「リスク管理の考え方 職員への AED 講習」がありますが、千葉市防災普及公社の協力により、参加者だけでなく職員も一緒に講習を受けており、評価を「3」としてしております。

ページ中段、「雇用の考え方 市内雇用の確保 障害者雇用への配慮 男女共同参画の推進」がありますが、市内・障害者・女性の雇用について広く門戸を開いていることから、評価を「3」としてしております。

ページ1番下、「複合施設の場合の管理協力関係、複合施設を含む近隣施設との連携関係の考え方 近隣施設との連携」では、近隣小学校の施設見学の受入れや社協高洲・高浜地区部会と協力した階段昇降機体験会の開催、近隣の幼稚園児によるひな人形のロビー展示など、地域との連携に努めたことから、評価を「3」としました。

6ページをご覧ください。

「(2) サービスの向上」の中の「利用者支援 備品等の貸し出し」がありますが、空調が緊急停止した際に、扇風機を無料で貸出すなど、迅速に対応したことから評価を「3」としてしております。

ページ中段、「(3) 施設の効用の発揮 施設管理能力」の中の「利用促進 情報紙、チラシ等の作成・配布」ですが、26年度より、イベント開催後の報告レポートを作成し館内掲示したり、新聞の折り込みチラシに自主事業を掲載したりと、情報発信に努めたことから、評価を「3」としてしております。

その3つ下、「幼児室の利用促進」ですが、こちらは昨年度まで評価を「1」としておりましたが、施設内でのポスター掲示や近隣幼稚園への広報活動、知育グッズなど玩具の購入により、幼児室及び自主事業である「ビデオ貸出事業」の利用者が増加したことから、評価を「2」といたしました。

7ページをご覧ください。

ページ中段、「施設の保守管理の考え方 駐車場管理業務の実施・駐車場使用の有無の確認・駐車場の巡回」がありますが、駐車場に人員を配置し、常時誘導を実施しております。また午前・午後・夜間と1日に3回巡回を実施し、4時間以上の駐車については張り紙により注意・警告しており、千葉西警察と協力して無断駐車の手締りに努めていることから、評価を「3」としてしております。

その他の項目においては、概ね仕様、事業計画通りの実績・成果が認められたため、「2」と評価いたしました。

よって、3点とした項目は19項目、2点とした項目は58項目、1点とした項目はございません。

したがって、全ての項目の評価の平均としては、2.2点となっております。

指定管理者評価シートの説明につきましては、以上でございます。

○小川部会長 ありがとうございます。

ただいま事務局から説明がありましたが、年度評価では指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握することになっております。

これから計算書類等をもとに、指定管理者の財務状況等に関する意見交換を行うことに

なりますが、一部の資料は一般には公開されていない法人等情報を含んでおりますことから、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する不開示情報となりますので、同条例第25条ただし書きの規定により、ここからの会議は非公開といたします。

なお、その後に行います指定管理者の施設管理運営のサービス水準の向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等に関する意見交換については、再び公開といたします。

現在、傍聴人の方はいらっしゃいませんので、このまま続けさせていただきます。

千葉市美浜区では、高洲と真砂のコミュニティセンターがありますが、いずれも株式会社千葉マリスタジアムが管理しておりますので、両方一緒に審議いたします。

それでは、公認会計士である小野寺委員から、指定管理者の財務状況等に関して、計算書類等をもとにご意見をいただきたいと思っております。

よろしく申し上げます。

(※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する情報（法人等情報）が含まれているため、表示していません。)

○小川部会長 倒産・撤退等の事柄に関することなのですが、小野寺委員からの専門家の見識によりますと、直ちにそのような事態はないということでした。

以上を本部会の意見とすることでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○小川部会長 ありがとうございます。

それでは、次に行う指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等に関する意見交換について、公開といたしまして、議論を再開していきたいと思っております。

傍聴人の方はいらっしゃいませんので、このまま続けさせていただきます。

指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等について、指定管理者評価シートをもとに、委員の皆様からご意見を伺いたいと思っております。

何か意見はございますか。

確認ですが、まず、年度毎に協定を結ぶのですか。

○事務局職員 まず5年間の基本協定を締結し、年毎に指定管理委託料や利益の還元について記載した年次協定を締結します。

○小川部会長 その後、毎年、資料4-2の事業計画書や資料4-3の事業報告書を提出してもらうということですね。

○事務局職員 はい。

○小川部会長 さらに、市によるモニタリングや意見交換を踏まえた上で、資料4-1の指定管理者評価シートを作成しているという流れですね。

○事務局職員 はい。

○小川部会長 ポイントは、事前の計画書に対して、事後の実施報告書がどういう位置づけになるかということですね。

例えば、資料4-2事業計画書の最後のページ「自主事業収支計画一覧」、それに対して、資料4-3事業報告書の最後のページ「自主事業収支決算一覧」を比較して、事前の計画に対して事後の内容が肉厚になってくるのですね。

○事務局職員 はい。

○小川部会長 評価シートの4-1の1ページ、利用状況の利用人数のところの平成26年度目標値(C)が9万1,038人に対し、平成26年度実績(A)が11万9,984人ですので、達成率が131.8%になるという記述ですね。

○事務局職員 はい。

○小川部会長 株式会社千葉マリスタジアムと5年間に渡って契約を結んでいたことになるのですが、利用者数は毎年コンスタントに10万人を超えています。そうすると、事前の目標値の立て方が非常に甘く設定されていると思います。毎年、指定管理者として施設を運営していて、ノウハウはあるはずですし、利用者が劇的に変化しているわけではないでしょうから、事前の計画の立て方が甘いのか、それか機械的なのか、形骸化しているのかといった印象を受けます。

○横山委員 ここでの一番の問題点というのは、結局、市の評価ですが、資料4-1の「5市による評価」というのは、立てた目標が基準となっており、低い目標を立てれば、2か3の評価になるということですよ。

○小川部会長 そうですね。

○横山委員 それをもって、いい指定管理者だと評価するのは、難しいのかなと思います。市の評価は評価でございしますが、若干割り引いて考えなければいけないところもあるのではないかなという気がいたします。ですから、本部会では本部会での意見を申し上げればよいかなと思います。

○小川部会長 毎年コンスタントに利用状況が6桁の人数がいるのに、最初に5桁を設定していることについて、控えめなのか、それともノウハウが溜まっていないのか。

○横山委員 計画策定能力に問題があるということですね。

○小川部会長 そうですね。

○横山委員 全く素人ではないわけですからね。

○小川部会長 何か形骸化している感がありますね。

○白井美浜区長 それはやはり、指定管理者のそういった甘さもあるのでしょうか、逆に市の事業計画書のチェック体制が、弱いのでしょうか。この目標値は既に達成されおり、1年ぐらい前の数字というのは絶対的に把握できているわけですが、それと比べても非常に乖離しているくらい甘くなっているということですよ。

提出された計画書をそのまま区側がストレートに受け取っているということにも、少なからず問題があると思います。本来は、指定管理を指定している主体として、何らかの指導を入れるべきだと思います。

○小川部会長 この話は、ずっと市民総務課とも話していることなのですが。

○白井美浜区長 私も他の部局で指定管理者制度に関わってきましたが、他の指定管理者でも同じような傾向にあり、目標数値が甘く設定されているところも結構あります。そもそも指定管理者が、そういったところをどう捉えているのか、市側でチェック体制を強化していかないと、いっこうに直らないと思います。

○小川部会長 そもそも、まちづくりの基本方針を明らかにできていないので、このようなことが起きると思います。公の施設を運営する管理者としての責任が何か。人口が減少していく中で、利用率を上げるというのは、かなり至難のわざだと思います。

○白井美浜区長　それから、もともと収益事業ではないですから、指定管理者制度を導入してしまうと、確かに市としての今後20年、30年を見据えた中で、こういったコミュニティセンターのあり方やまちづくりの方向性がわからないと、毎年のように、こういった話になってしまうと思います。

○小川部会長　そうですね。人口問題については、市が施策をつくって、それが効果を表せばいいですが、なかなか難しい感がありますよね。

例外的に花見川区の幕張コミュニティセンターのように、周りにマンションが建って、若い住人が入ってきて、利用が増えているというようなケースもありますが、あれは指定管理者の努力というよりも、運がよかったような感じもあります。

○事務局職員　周辺環境が黙っているうちに整ってしまったという、そういうことですよ。

○小川部会長　そうです。定量的な数字だけを追いかけて評価すると、落とし穴に落ちるような気がしますので、本来の公の施設のあり方に立ち返った方がいいのではないかと思います。直営の時よりも、随分と経費の負担は軽減されているという話は聞いています。

ただ、民間事業者とは、公というものに対する意識が違いますから、そこでまた新たな問題を生むのではないかと思います。

○横山委員　制度的な問題はさておき、本件で評価すべきところですが、例えば、前年度比で利用者や稼働率が増えたというところは評価すべきかと思います。

それから、自主事業に関しては、資料4-1の3ページ アンケート結果で915件の回答があった中で、講座への不満が7.9%ですので、自主事業の数は増えていますが、内容についてはあまり評価すべきじゃないのかなと思います。

○小川部会長　需要の取り違えがあるみたいですよ。

○横山委員　ご事情があれば、市からご説明いただきたいのですが。

○事務局職員　このアンケート調査は、利用者であるサークルの方々を中心に実施しているものでして、実際、サークルの方たちが自主事業を使っていることがあまりないことから、不満の回答が多いものと考えられます。実際に自主事業に参加していただいた方々へは、3回目に改めてアンケートを行っており、この際には「普通」以上の回答がほとんど8割を超えていまして、満足度は高いと考えられます。

○横山委員　そう読むべきなのではないでしょうか。不満の理由は、結局、ニーズと合っていないということではないでしょうか。例えば、子ども連れの方がお家に帰るような時間帯に開催しているとか、時間の設定にミスマッチがあるのではないですかね。

○鶴岡委員　私が意見を申し上げるのも、ピントがずれた意見かとは思いますが、形骸化しているというのは、確かにあると思います。多分、高齢化の問題が一つあると思います。この辺りが開発された頃は、コミュニティセンターは市が直営で運営していました。市の職員も考えましたが、若い地元の方がいろいろなアイデアを出してくれました。また、運営委員さんが色々と提案してくれました。それが今は高齢化して、やはり安全策というか、事業も形骸化しているのではないかという気がします。

私は高洲に住んでいますが、住んだ頃というのは、みんな元気がよかったですね。だからいろんなことを自分たちで計画して、自治会の中でもいろんなイベントをそれぞれでやっていました。ところが、この頃は年をとってきたせいか、顔見知りになったということ

もあるでしょうが、毎年やっていることは同じという感じがして、新しい事業がされていないというような傾向がありますね。

高洲や真砂コミュニティセンターでは、運営委員も長い間、同じ方がやっていて、高齢化もしています。そうすると、出てくる意見も少ないでしょうから、そういう意味で形骸化という問題につながっているのではないかと思います。

○三山委員 私、高洲に住んで40年近くになりますが、今、鶴岡委員がおっしゃったように、住んだ頃は本当に皆若かったですし、運営委員の意見というのがとても反映されて、コミュニティセンターと協力しながら事業を盛り立てるような気風があったと思います。今の指定管理者になられてからは、私たちが年をとっているということもあるのですが、何となく安全に、去年のことを同じようにやりましょうという、なかなか新しい意見というものが入ってこないような気がします。申しわけないですけども、去年やったことをやっていこうと思われているのかな。

40年前は本当に若い方ばかりで、子育て世代が主でした。その頃に始まった行事で、例えば、「5・5まつり」は形になって残っていますよね。あれも運営委員さんが始めたのがそのまま残っているのですが、その委員さんも、私の年代に近い方が多くなっていて、形骸化というのは言い過ぎだとは思いますが、安全策をとっているような気はいたします。

○小川部会長 人口構成を考えて、この層が多ければ、それは仕方がないと思います。

○横山委員 まさに、その形骸化を打破するために指定管理者の制度があるわけですね。民間の業者を入れて、新たな活力を生み出してもらおうという。

○三山委員 ここ数年見ていると、高洲コミュニティセンターも体操教室ですとか、色々なことをやっていて、参加される方も私たち年配のような方を対象とした自主事業が多くなってきているような気がします。

○横山委員 積極的なご意見として、この指定管理者はどうなのでしょうか。要するに、この指定管理者がそういう問題点をうまく把握して、何か新しいことをされているのかどうか。ユーザーの考え方としてどうなのか、伺いたいのですが。

○三山委員 利用者の立場としまして、例えば、真砂コミュニティセンターで実施しているノルディックウォーキングなど、そういったものは全部取り入れて、同じような事業を並行してやっているような印象を受けます。同じ指定管理者がということもあるのですが、同じような事業になりつつあります。

○横山委員 それは、マンネリという意味ですか。

○三山委員 マンネリというよりも、あちらがよかったからこちらでもやりましょうといった感じです。参加者は、こっちでやっておもしろかったから、あっちも行きましょうというような方もいるようです。年配者は時間だけはたっぷりありますので。

○横山委員 ありがとうございます。この指定管理者に関して言うと、非常に保守的なのかなという印象を受けますが。

○三山委員 ただ、とっても熱心であるとは思いますが。

○横山委員 そこは評価をされている。

○三山委員 はい。熱心で、いろんな意見も取り入れてはくださっていると思います。ただ、新しいという面においては、なかなか難しいところがあるのかなという気はします。人脈もそれ程広くなく、会社で関わりのある方を講師として招いているようです。

○小川部会長　例えば、利用されていて、また来たいとか、今度こんなことをやってほしいなというような、漠然とした思いを相談できるような親身な関係というのはできているのですか。

○三山委員　社協の立場で申し上げますと、いろいろ相談に乗っていただいて便宜は図っていただいております。こんなことをやりたいと提案すると、一生懸命協力してくださって、関わりのある講師の方をご紹介いただいて、形にしてくださるという面はあると思います。

○小川部会長　高齢化が進んでいて、行政にも限界がある中で、社協の方などに対してこの施設が協力できるようなものなのかなというのが、少し気がかりです。

○三山委員　例えば、昨年の階段昇降機のテストでは、高洲コミュニティセンターの階段を使わせていただきましたが、階段昇降機というものを知らなかった方が大勢来てくれました。それは社協から話をしまして、便宜を図っていただきました。

さらに、認知症のサポート養成講座なども、今年度は企画しておりまして、現在、相談に乗っていただいております。

やはり高齢者が多くなったということで、そちらに目は向いていると思います。

○小川部会長　そういった社協の取組みをサポートしているようでしたら、そのような評価項目が評価シートにあってもいいかと思えますね。どうしても自主事業は娯楽的なものが多くなってしまいますし。採算性がなくとも、防犯関係などは警察が無料で協力してもらえますが。

○事務局職員　移動交番は高洲コミュニティセンターの駐車場に、月3回来ています。

○横山委員　議長として公益的な見地から、資料4-3の最後のページにある自主事業をどう評価されますか。

○小川部会長　自主事業以外にも、他部会で事例があるようなタウンミーティングの開催など、市政に係る活動が充実しているのであれば、すみ分けということで、こういった娯楽性の高い事業を実施するのはわかりますが、その辺の情報がありませんので、これだけで判断するのであれば、もう少し公益的な事業を実施してほしいと思います。

○横山委員　意見としては、公益的な自主事業を実施するというところで、改善提案になりますね。

○鶴岡委員　事務局に質問ですが、自主事業を実施する場合に、指定管理者が考えて実施するのか、それとも、運営委員も含めて実施していくのか、どちらでしょうか。

○事務局職員　主体は指定管理者となりますが、運営委員と協力して実施していただいております。

○鶴岡委員　経営していく上で、安全策といいますか、いかに赤字を少なくするかということを考えていくと、あまり冒険したくないというのはあるのではないのでしょうか。

市の直営の頃ですと、ある程度予算があり、その予算を使いながら、足りないところは自主事業で補うという形で、事業を実施していたという経験がありますので、冒険的なこともできたような記憶があります。失敗することもありましたが、成功した例が、今、三山委員さんがおっしゃったとおり、延々としてここにつながっていると思います。ですから、新しい何か突拍子もないことをやると、日本人はわっと飛びつくかもしれませんが、それが数年続くかということ、そうでもないという気がします。その辺の経営管理はなかな

か難しいような気がします。そのあたりで、自主事業というのは難しいところがありますね。

○横山委員 自主事業に関して、市が指定管理者の計画に対して干渉するという事はないですよ。

○事務局職員 はい。施設の設置目的に反しない事業であれば。

○横山委員 制度でいえば、自主事業は利益の還元まで制度として考えられているわけですよ。

○事務局職員 はい。

○横山委員 ですから、やはり利益を産む事業をしなければいけないというところがありますので、保守的になるというのは、方向性が逆ですね。成果実績を理解していないということになると思います。そういう意味ではマイナス評価ではないでしょうか。

○小川部会長 計画の設定の仕方が甘いですね。自主事業からサークル化につながった事例はありますか。

○鶴岡委員 自主事業に参加した方たちがサークルをつくっていくというのは幾つかあるようです。

○横山委員 それは本来、事業実施報告書で、自分でアピールすべきものですよね。

○小川部会長 やはり、民間の事業者を導入したということで、直営の時とはまた違う要素として、新しい文化や新しいものを紹介して、それが普及していくというのが理想的ですね。住んでいるところの中では、気づかなかったことを気づかせてもらえたというように。それが本来、あるべき民間活力だと思います。それからコストの削減でしょうか。また、評価できる点としては、資料4-1の5ページ目、雇用の考え方のところですね。当初の計画水準も高く、そういったことに配慮しているというのが、非常に喜ばしいかなと思います。

○横山委員 その点についてですが、障害者雇用の実績はないですよ。その評価を「3」とするのは、他区では実際に知的障害の方を施設職員として複数雇用しているところもありますから、どうかと思います。

○小野寺委員 ここは私も違和感がありまして、実際の雇用があれば評価「3」、門戸を開いているのであれば評価「2」で十分だと思います。

○小川部会長 雇用していた時はありませんでしたか。

○事務局職員 25年度に雇用していました。

○横山委員 それ以外の市内雇用の確保や男女共同参画については、評価はそのままですよ。

○小川部会長 過去の実績でいうと、ここは雇用していたので、決して閉ざしているわけではないですよ。

○横山委員 ただ、年度評価です。

○小川部会長 そこだけ「2」になりそうですね。

○事務局職員 委員の皆様の意見を反映し、評価を「3」→「2」へ変更いたします。

○小川部会長 幼児室の利用促進の評価が、以前は「1」でしたが、「2」となったんですね。

○事務局職員 そうです。

- 小川部会長 幼児室の利用者数は増えているのでしょうか。
- 事務局職員 幼児室の利用者は増えています。さらに、幼児室を利用した自主事業であるビデオの貸出実績も増えています。
- 小川部会長 数字として結果が出ているのですね。
- 事務局職員 はい。
- 横山委員 関連して質問ですが、料理自習室の利用が低いですよね。それに対して市としては、どうお考えなのかお訪ねしたのですが。仕方がないのでしょうか。
- 事務局職員 サークル数も、ダンスサークルなど他のサークルと比較して少ないのですが、社協さんも月に1回配食サービスを開催しておりますし、近隣の施設で調理実習室を設けている施設がありませんので、設備としては必要であると思っております。
- 小川部会長 非常時にも必要ですね。
- 事務局職員 そうですね。
- 横山委員 そうすると、やはり指定管理者に、もう少し自主事業で何か稼働率を上げるような努力をお願いしたいなと思います。
- 小川部会長 他にいかがでしょうか。
- 若い層は入ってきているのでしょうか。周辺住民の状況はどうでしょうか。
- 横山委員 地域性としては、高齢化が進んでいる感じはあるかもしれませんが、ベイマークスクエアを始め、若い人がいないわけではないですよ。
- 三山委員 ベイマークスクエアができたことによって、幼児室の利用も増えたのではないかという気はいたします。
- 横山委員 ポテンシャルはありますよね。
- 三山委員 ベイマークスクエアを抜いてしまうと、高浜地域は4分の1以上の高齢化率になってしまいます。ベイマークスクエアが入ってきたことによって、小さな子どもたちが増えて、さらに幼児室を改善していただいたところで、利用実績が増えたのではないかと思います。中間層は少ないような気がします。幼児と65歳以上が対象で、いわゆる壮年層向けのものというのは何もないような気がいたします。自主事業もないですし、中で何かをしようとしても、あの施設は中途半端なのかなという気がいたします。
- 鶴岡委員 児童数は増えていないですよ。
- 三山委員 残念ながら高洲・高浜地域の児童数は増えておりません。
- 事務局職員 自主事業で、夏季に自習室としてロビーを開放していますが、その時期は多くの学生さんの利用があります。
- 鶴岡委員 高洲・高浜・真砂・磯辺、この辺にある学校のクラスというのは、どのぐらいあるのでしょうか。
- 三山委員 高洲・高浜地域内の小学校で1番多いところがベイマークスクエアのある高洲第三小学校です。1番少ない真砂第五小学校では、全校生徒約150人です。
- 鶴岡委員 1学年1クラスしかないですね。
- 三山委員 本当に1学年1クラスです。高浜第一小学校は2クラスか3クラスできましたが、高洲小学校もやはり2クラスぐらいの数ですね。他は大体1クラスか、多くても2クラスぐらいになっています。
- 小川部会長 期待は難しいですね。

○鶴岡委員 幸町はマンションがいくつかできたものですから、1学年5クラスみたいです。

○三山委員 ただ、ベイマークスクエアができたことによって、一時、高洲第三小学校の児童数が上がりましたが、少し落ちついてきたようです。

○小川部会長 高洲から幸町まで少し距離がありますが、幸町の方には、そういったコミュニティセンターに相当するような施設はないのですか。

○白井美浜区長 ありません。公民館が1つと、それから高齢者施設である老人センターがありまして、そこは老人だけではなく、育成委員会やスポーツ振興会などが利用しております。その利用の中で子どもも若干利用していることはあると思います。

○鶴岡委員 幸町が一番端ですと、高洲のコミュニティセンターよりも中央コミュニティセンターの方が近いですね。

○白井美浜区長 幸町一丁目などの市役所に近い方はそうですが、高洲・高浜に近い方は高洲コミュニティセンターの方が近いですね。

○小川部会長 では、施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等の主な意見をまとめたいと思います。

今、意見として出ているのは、計画書の策定能力、料理自習室の稼働率向上、自主事業への創意工夫といったところでしょうか。

○横山委員 自主事業の数については評価できると思いますが、ただクオリティーが。

○小川部会長 そうですね。

○小野寺委員 サークル化につながる実績を出すのが望ましいですね。

○小川部会長 それでは、これらを踏まえて、本部会としての意見をまとめていくこととなります。詳細については、私と事務局で調整する形でご承認いただければと思います。ありがとうございました。

続いて、総合評価をしていきたいと思っておりますので、事務局から、ご説明をお願いいたします。

○事務局職員 それでは、総合評価について、ご説明いたします。

まず、資料5-1「指定管理者総合評価資料」をご覧ください。

「1 基本情報」と「2 管理運営状況」の「(1) 業務の概要」については、ご覧のとおりとなっております。

次に、「(2) 利用状況」の「①利用者数」及び「②稼働率」ですが、指定期間当初からの推移について、表にまとめております。

利用者数は、各年度の計画数と比較し、実績が上回っております。ただし、25年度の利用者数は前年度と比較して減少しておりますが、これは、空調設備が夏季に2回緊急停止したことによるものと考えられます。

次に、諸室の稼働率ですが、23年4月からの利用料金制度の導入及びそれに伴う利用方法の変更により、22年度と比較し、23年度の実績は低くなっております。

また、23年度以降につきましては、実績は計画を下回ってはおりますが、年々、微少ではありますが増加傾向にあります。これは、施設予約システムの導入など利用者サービスの向上に努めていることや、稼働率の低い諸室を利用し、多種多様な自主事業を展開していることによるものと考えられます。

2 ページをご覧ください。

「3 利用者意見への対応状況」ですが、職員に対する苦情につきましては、都度、改善が図られるよう指導しております。

また、設備や運営への意見としては、老朽化した施設ということもあり、要望が多岐に渡りますが、利用者視点に立ち、迅速に、可能な限り要望に応えるよう対応しております。

3 ページをご覧ください。

まず、「4 収支状況」の「(1) 過年度の収入・支出状況」ですが、収入においては、指定管理委託料は計画どおり、利用料金収入は計画額以上となっております。

支出においては、25年度は、光熱水費の増加や施設の老朽化に伴う計画外の小破修繕が生じたことにより支出が増加し、計画額を上回ったことから、全体の決算額はマイナスとなりました。

自主事業につきましては、年々事業数が増加しておりますが、事業の中には収益よりも利用者サービスや稼働率向上を目的としているものも多く、収支はマイナスとなっております。

次に、「(2) 管理経費の縮減に係る取組み」についてですが、自主事業を効果的に実施するなど、稼働率向上の取組みにより収入の増加を図りました。また、ガス・電気の契約形態を変更したことによる光熱水費の抑制など、支出の削減に努めました。

次に、資料5-2「指定管理者総合評価シート」をご覧ください。

「1 基本情報」については、ご覧のとおりとなっております。

次に、「2 総合評価」の「(1) 過年度の管理運営業務に対する評価」ですが、2ページ中段の【評価の基準】をご覧ください。「S」は事業計画を超える実績・成果が認められたもの、「A」は概ね事業計画通りの実績・成果が認められたもの、「B」は事業計画通りの実績・成果が認められず、改善を要する事項があったものとしております。ここでは、評価を「S」及び「B」としたものについて説明いたします。1ページにお戻りください。

まず、評価項目「1 市民の平等な利用の確保 施設の適切な管理 その他市長が定める基準」の「(7) 市からの事業実施受託業務」については、まつり実行委員や周辺自治会、複合施設と連携してコミュニティまつりに取り組み、仕様で定める水準を上回っていたため、評価をSとしました。

2 ページをご覧ください。

評価項目「3 施設の効用の発揮・施設管理能力」の「(4) 自主事業の効果的な実施」については、利用者ニーズを考慮した事業や学びを意識した事業、多世代交流や新規サークルの設立を目的した事業を展開するなど、多種多様な事業を実施し、定着させたことから、仕様で定める水準を上回っていたため、評価をSとしました。

次に、評価項目「4 管理経費の縮減」の「(1) 管理経費の低廉化」については、25年度において、計画額以上の赤字を計上し、管理費などの経費削減が不十分であったことからBといたしました。しかし、その他の年度においては利益を計上しており、26年度も改善の余地が見られたため、総合的には評価をAといたしました。

最後に、総合評価については、「概ね事業計画どおりの実績・成果が認められた」と判断しAとしました。以上でございます。

○小川部会長 ありがとうございます。

ただいま事務局から高洲コミュニティセンターの総合評価につきまして、評価案が示されましたが、まず初めに、この評価の妥当性について、委員の皆様から意見をお聞きしたいと思います。

○横山委員　　まず、資料5-1の22年度の諸室の利用者と稼働率ですが、コマの割り方などの基準が違いますから、参考にならないですよ。この数字を見ると、22年度は、例えば稼働率にしても高くなっていますが、そもそも基準が違いますから、次の23年度の稼働率が減少していても、これは低いとは言えないですよ。ですから、ほとんど無視していいということでしょうか。

○事務局職員　　はい。23年度からは利用料金制度を導入していますので、基準は22年度以前と異なっています。あくまでも参考ということで、記載させていただきました。

○横山委員　　25年度の赤字の原因というのは、光熱水費の増加というある意味、不可抗力ですよ。不可抗力であるならば責めに帰すことはできないので、吟味する必要はないかなと。資料5-2の管理経費の低廉化について評価「B」とありますが、収支はおおむね黒字ですから、「B」というのは厳しいのではないかという気がします。他部会ですが、毎年赤字を出しているところも「A」の評価をしていますので、千葉市として基準の適正に問題はないのでしょうか。

○事務局職員　　光熱水費の上昇は不可抗力ではありますが、26年度は契約形態を変更し、黒字となりましたので、25年度においては経費削減が不十分であったと判断し「B」と評価いたしました。

○小川部会長　　評価シートの作り方ですが、5-1の「(2)利用状況」に利用者数と稼働率とありますが、体育施設はないですよ。

○事務局職員　　ありません。

○小川部会長　　体育施設のある部会の資料では、体育施設の項目がありましたが、そういった特徴のある施設があつて、そこは別立てで表記するというようなことはしなくてもいいという理解でいいですか。

○事務局職員　　はい。諸室と体育施設という2段書きとしておりまして、体育施設がないため、諸室のみの1段書きとなっています。

○小川部会長　　わかりました。ありがとうございます。

○横山委員　　資料5-2の「3 施設の効用の発揮 施設管理能力」の「(2)自主事業の効果的な実施」に関しましては、先ほどの議論にもありましたが、評価「S」というのは、評価し過ぎではないかと思います。私からは以上です。

○小川部会長　　評価シートの作り方もう1点質問です。市からの事業実施受託業務として「コミュニティまつり」を全コミュニティセンターで実施していますが、これについて別立てで評価をするような評価シートの作り方はしないのですか。

○事務局職員　　コミュニティまつりは、資料5-2の「2 総合評価」の中の1ページ目「(7)市からの事業実施受託業務」にて、評価します。

○小川部会長　　年度評価シートの中でコミュニティまつりという項目を立てていて、それが千葉市として民間活力を導入する前の一つの売りだと思ったので、その項目を埋没させていいのかと、疑問に思ったのです。この、「(7)市からの事業実施受託業務」の項目は、コミュニティまつりだけを示すのでしょうか。

- 事務局職員　　そうです。ここはコミュニティまつりのみを示しています。
- 小川部会長　　コミュニティまつりと表記しても、全然問題ないということですね。
- 横山委員　　まあ実質そうであると理解してよろしいということですかね。
- 小川部会長　　これは、外部に公表した時にわからないですよ。
- 事務局職員　　こちらの項目は市民局で統一のため、意見が出た旨をお伝えします。
- 小川部会長　　地域性も違うので、一番現場に精通している区役所の裁量があってもいいのではないですか。
- 鶴岡委員　　小川部会長のおっしゃるとおりだと思います。
- 小川部会長　　次に、次期指定管理者の選定に向けての意見をいただきたいと思います。
やはり、地域性を考慮し、地域住民の意見を聞いてくれるということ。そして、公の施設なので公共性、公益性を意識した運営をしてほしい。それから、計画策定能力ですよ。
- 資料5-1の「4 収支状況」を見る限り、自主事業に積極的に取り組んでおり、その規模が大きくなっていますので、その辺の指定管理者の努力の足跡というのは、大いに評価できるかと思えます。ただ、23年度には200万円ぐらいの利益だったものが、だんだんと縮小していき、25年度に赤字となっており、その辺の安定感が欲しいなと思えます。
- 横山委員　　次期の選定に向けての意見ですが、地域性に見合った魅力的な自主事業の策定に努めていただきたいと思います。
- 小川部会長　　ありがとうございます。
次の指定管理者を選ぶにあたっては、地域の方の意見がここでしかおそらく反映できないと思うので、何か意見があれば、おっしゃってください。
何年か委員をやっていて、やはり地域の人と寄り添うような形であってほしいとは思いますが、その具体的なものまでは踏み込めませんので。こんなものがあつたらいいなというようなものはありませんか。
- 三山委員　　今年度の空調改修が終わってどうなるかというところを、心配しています。4か月間休館するとによって、マイナス面はとって出してくると思います。
私ども社協に関しましても、先ほどの話の中でもありました月1回の会食が無くなって、それを楽しみにしているお年寄りの方の事を考えると、マイナスだなと思えます。
ですが、空調設備が新しくなり、より施設が利用しやすくなれば、それはそれで評価しなければいけないのかなというジレンマみたいなのがあります。
ですから今、次年度に向けてと言われましても、11月以降の事を考えるだけで精一杯で思いつきません。代替りの施設がないものですから。
- 小川部会長　　そうですね。やはり、付き合いも含め、そういった配食事業を楽しみにされている方はいらっしゃいますよね。
- 三山委員　　おります。ひとり暮らしの方を対象にしていますので、まともな食事はこれだけだよとおっしゃる方もいらっしゃるのです。しゃべりながら食べるってことがないので、ただ食べるだけですけど、おしゃべりをして、これはおいしいね、これはどうやって作るのかねって言いながら食べることを楽しみにしているのにといい意見も出ています。それが4か月空白になってしまうと、それは心配です。
- 小川部会長　　まちや人が高齢化していく中で、そういう方たちにも寄り添ってほしいなと思えます。行政が立ちいかないところに、こういった意識の高い市民の方が活躍しや

すい場であってほしいなと思います。

○横山委員　　そういうニーズを吸い上げる指定管理者であってほしいということですね。

○小野寺委員　　そうです。

○三山委員　　ありがとうございます。

○鶴岡委員　　利用者は、ほとんど定着してしまっているのですよね。

○三山委員　　はい、定着しています。予約制になったとはいえ、この部屋のこの曜日はこのサークルが利用しているということで、仲間意識がすごく強いものですから。同じ人が利用しているケースも多いですね。週のうち3・4日ぐらいはここへ来ているのよって方、多いですね。今日は体操をして、明日はヨガをしてというような感じの使い方をしている人は多いですね。

コミュニティセンターまで足を運んで、そういう楽しみ方を見つけていける人はまだいいと思いますが、さき程もお話した、食事だけが楽しみだという方もいますので。

○小川部会長　　重要なご意見ありがとうございます。そういった意見を吸い上げたいと思っていました。ありがとうございます。

では、指定管理者総合評価シートの原案に対して、B評価もあればS評価もありますが、まず、コミュニティまつりについての評価「S」については、原案どおりでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○小川部会長　　先程も意見が出ましたが、自主事業の効果的な実施の評価「S」については、いかがでしょうか。

○横山委員　　若干、違和感があります。

○小川部会長　　量・規模的には増えていますし、数字も伴っていますので。

○横山委員　　量・規模については評価していいと思います。あとは内容の問題になりそうですね。

○小川部会長　　それは次期指定管理者の選定に向けての意見として捉えればいいのかと思いますが、いいですか。

○小川部会長　　管理経費の低廉化「B」ですが、いかがでしょう。

○横山委員　　5年間のトータルは黒字ですし、光熱水費は不可抗力ですので、「B」では厳しいのではないかととも思います。

○小川部会長　　震災のときに防災施設として開いたという実績がありましたよね。そういったところは評価してもいいのではと思いますね。トータルで黒字ですが、ばらつきが目立ちますね。

○小野寺委員　　大項目の「4 管理経費の縮減」は「A」で、その内訳の中の1つである「(2) 管理経費の低廉化」が「B」、これは整合していると思います。

○小川部会長　　はい。ありがとうございます。

では、以上を踏まえて総合評価「A」という形を取りまとめてよろしいでしょうか。

(異議なし)

○小川部会長　　ありがとうございます。

それでは、これらを踏まえて、次期指定管理者の選定に向けて、本部会としての意見を

まとめていくこととなります。詳細については、私と事務局で調整する形でご承認いただければと思います。ありがとうございました。

では、一旦ここで休憩にいたしたいと思います。

(休憩)

○小川部会長　それでは、議事を再開させていただきます。

次に、千葉市美浜区真砂コミュニティセンターについて、評価を行いたいと思います。

先ほどと同様に、まず年度評価を行いますので、ご説明をお願いします。

○事務局職員　資料6-1をお開きください。

まず、「1 基本情報」ですが、先程ご説明した高洲コミュニティセンターと同様ですので、省略させていただきます。

次に、「2 管理運営の実績」についてでございます。

まず、「(1) 主な実施事業」の「① 指定管理事業」につきましては、ご覧のとおりでございます。特に、コミュニティまつりでは、高洲コミュニティセンター同様、来場者が延約1万8千人と盛況でした。

「② 自主事業」につきましては、年間で25事業が実施されており、各事業はご覧のとおりでございます。計画事業については全て実施されており、新規の事業が6事業となっております。新規事業の内訳としましては、上から、N o 12・14・17・21・23・25となっております。N o 12「房総の漢詩を楽しむ」は、複数ある漢詩サークル間の交流を目的とし開催されました。N o 14「うたごえ広場」は、N o 8「まさご歌声講座」を500円のワンコインで気軽に参加できるよう新規に開催されました。N o 17「プライベートピラティス」とN o 25「プライベート機能改善体操」は、利用者から好評であるN o 7「スマイルピラティス」とN o 10「機能改善体操」の少人数制講座として、中級者向けに展開し、利用者ニーズに合わせた事業を実施しました。また、N o 11「クラシック名画上映会」は、1回あたり約160名の参加があるなど、定着した事業となっております。

次に、「(2) 利用状況」につきましては、26年度の利用者数は117,524人で、前年度比で106.0%です。また、稼働率につきましても54.5%と、昨年度よりも1.1%向上しております。

これは、利用者目線に立った施設運営に努めていることや、稼働率の低い諸室を利用し、多種多様な自主事業を展開していることによるものと考えられます。

次に、2ページをご覧ください。

「(3) 収支状況」につきましては、利用料金収入が計画額を下回ったものの、自主事業における収入が計画額を上回り、支出についても計画額を下回ったことから、全体の決算額は1,087千円のプラスとなっております。支出の内訳ですが、事務費につきましては、印刷を外注から直営としたことで印刷製本費が減少したことによるものです。

「(4) 指定管理者が行った処分の件数」、「(5) 市への不服申立て」はご覧のとおりでございます。「(6) 情報公開の状況」については、公募時の提案書の開示請求が1件となっております。

次に、「3 利用者ニーズ・満足度等の把握」についてでございます。

まず、「(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果」についてですが、1回目は、市内の全コミュニティセンター統一のアンケート調査を実施しました。

3 ページの「2 満足度調査結果」の表をご覧ください。調査の結果といたしましては、「普通」以上の回答が過半数を超えており、概ね良い評価をいただいております。一番下の「講座等」に関する満足度が低くなっておりませんが、これは新規講座への要望が多くあったことや、周知不足への不満によるものと考えられます。

「3 意見・苦情とそれへの対応」ですが、まず「空調設備の老朽化」への苦情に対しましては、28年度より、学校跡施設への移転を予定していることから、特に改修はせず、扇風機の貸出にて対応しました。

次に、「予約システムの使い勝手が悪い」との苦情に対しましては、利用者にはわかりやすく説明し、システムの普及に努めております。

次に、「鍵の貸出しを臨機応変にしてほしい」との苦情につきましては、鍵の貸出しの際に返却時間を伝え、スムーズな鍵の貸出しに努めております。

2 回目は、28年度から旧真砂第一小学校跡地にコミュニティセンターが移転することになりますことから、移転についてのアンケート調査を実施しました。

利用者の過半数が真砂・磯辺地区に居住しており、移転後の利用予定は約8割となっております。移転後の施設利用頻度は、月2回、次いで月1回となっており、移転前と比較して月4回以上の利用割合が特に低くなっております。また、交通手段は、移転前は自転車が多かったのに対し、移転後には車の割合が増加し、徒歩の割合が減少しております。継続利用する最も多い理由は、「サークル活動を継続したい」、次いで「体育館・図書室など、利用したい諸室がある」と回答しております。利用しない理由は「駅・自宅から遠いなど、不便になる」との回答が多くありました。

3 回目は、自主事業に関するアンケート調査を実施しました。

調査の結果といたしましては、女性で無職の60歳以上の方が多く参加しており、8割以上が千葉市の広報誌である市政だよりによって、事業を知ったと回答しています。

また、ストレッチや運動教室といった健康維持・増進に関する事業の希望が多く、これを踏まえ、利用者ニーズに応じた新規の自主事業を企画・検討しております。

次に、4 ページをご覧ください。

「(2) 市に寄せられた意見、苦情」ですが、市長への手紙は1件寄せられました。

「自主事業で設置しているインターネットで、ゲームをしている小学生がいる」との内容では、パソコンの前に、「ゲーム禁止」の貼紙を掲示することで対応いたしました。

「4 指定管理者による自己評価」につきましては、施設管理業務については、職員のインターネット予約システムのスキル向上及び普及に努めたことにより、予約・受付業務、料金収納業務など、利用者と協力して円滑な運営ができた。

また、「コミュニティまつり」は地域の大イベントとして確実に定着しており、今後も地域・サークル・事業委員・区と密なる連携を図っていきたい。

自主事業については、各講座がほぼ満員と盛況であり、稼働率向上に寄与することができた と自己評価しております。

次に、「5 市による評価」ですが、評価は、3段階評価の真ん中であり、「A」といたしました。

理由としましては、管理運営については事業計画どおり行われていること、サークル交流会など様々な行事を開催し事業運営を行ったこと、利用者ニーズに応じた多種多様な事

業を展開したことによるものでございます。

「履行状況の確認」につきましては、ご覧のとおりでございます。

履行状況欄の点数を3点とした項目の主なものとして、

「(1) 市民の平等な利用の確保 施設の適正な管理 その他市長が定める基準」の5ページ中段「市からの受託業務 コミュニティまつりの実施」がありますが、多くの区民が来場し、施設内でのサークル成果の発表、屋外での近隣幼稚園によるダンスや中高生・千葉大学生による演奏会、ミニ電車や模擬店などで賑わい、また、地域住民の有志によって制作された作品をロビーに展示するなど、仕様・提案を上回る実績・成果がありましたので「3」としております。

5ページ下「(2) サービスの向上 利用者サービスの向上 図書館の利用時間延長 貸出中図書の予約サービス」では、常時職員を配置し、夜9時まで開所しており、蔵書数約2万7千冊のうち貸出冊数が約6万8千冊、貸出人数が約4万5千人と多くの利用がありました。購入図書数は438冊で、新聞に掲載されている推薦図書の購入数を増やしました。また、寄贈図書は289冊となっております。さらに、人気本の予約ができることや夏休みの課題図書の貸出期間が延長できることから、評価を「3」としております。

6ページをご覧ください。

上から3項目目の「利用者支援 地域の文化資源・人材等の情報発信」がありますが、自主事業において、地域の人材を講師として招き、新規事業の開拓に努めております。また、2月には美浜区主催事業「人財バンク活用講座」と連携し、特技を持った人材を活用して自主事業を開催したことを評価し、「3」としております。

その2つ下、「サークル調査・サークル会議の実施」では、毎年6月にサークル交流会を開催し、情報共有や親睦を図っていることから、評価を「3」としております。

「(3) 施設の効用の発揮 施設管理能力」の中の「利用促進 幼児室の利用促進」では、「千葉市子ども読書活動推進計画」に基づき、24年度より地域で活動している団体と協力して乳幼児への読み聞かせを開始し、25年度から月1回継続的に開催していることを評価し、「3」としております。

6ページ下、「自主事業の効果的な実施 特定の年代や性別に偏らず、世代間交流を考慮した事業」につきましては、自主事業「七夕まつり」にて老人会の協力により、昔遊びを子ども達へ伝承するなどの多世代交流を図り、約137人の来場者で賑わったことから、評価を「3」としております。

その他の項目においては、概ね仕様、事業計画通りの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われておりましたので、「2」と評価いたしました。

よって、7ページ下にありますとおり、3点とした項目は17項目、2点とした項目は58項目、1点とした項目はございません。

したがって、全ての項目の評価の平均としては、2.2点となっております。

指定管理者評価シートの説明につきましては、以上でございます。

○小川部会長 ありがとうございます。

それでは次に、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等について、指定管理者評価シートをもとに、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。いかがでしょうか。

○小川部会長 資料6-1 6ページ一番下の「自主事業の効果的な実施 自主事業の実施状況」の1行目に、「事業計画に沿った自主事業を実施」との記載がありますが、計画書と報告書の金額が全然違います。動いているお金の桁が、全然違いますよね。

○横山委員 なぜ金額がこれ程変わってくるのか、その乖離の原因を教えてくださいなのですが。

○小川部会長 計画書の収入29万5,000円に対して、決算書の収入339万8,000円なので、計画どおりではないですよ。

○横山委員 達成率が1,000%になっていますが、これ自体が異常ですよ。

○事務局職員 申し訳ありません。確かに、計画に沿って自主事業を実施しているとは言えませんので、こちらの資料については、修正いたします。

○横山委員 計画がずさんだとしか言いようがないですね。

○小川部会長 ノルディックウォーキングやスマイルピラティスなどは、過去に実績がありますし、初めての事業ではないですよ。市の評価の仕方に違和感があります。

計画書と報告書を突き合わせて評価することについては、指定管理者の計画性がずさんだと、このようなことが起きてしまうので、要検討事項だと思います。

○横山委員 指定管理者に対しては、もう少し綿密な事業計画を立案していただきたいという、そういう意見でしょうかね。

○小野寺委員 多く実施する分にはいいとは思いますが、確かに、計画の段階と実績がこれだけ乖離しているので、計画書の作成の仕方がおかしかったということですね。

○横山委員 これが初年度であれば仕方がないという話ですが、何年も実施している指定管理者ですからね。

○小川部会長 去年も似たような自主事業、結構ありましたよね。

○事務局職員 そうですね。

○小川部会長 ただ、通年の事業が増えてきましたよね。

○事務局職員 そうですね。参加者から人気のある事業は、通年にするように努めています。

○横山委員 質問よろしいですか。資料6-1、3ページのアンケート結果についてですが、「講座（自主事業）に関する満足度が低かった」と記載があります。高洲コミュニティセンターのアンケート結果と全く同じコメントですが、ベースとなるデータは違いますよね。高洲コミュニティセンターは不満が約7%と高い数字が出ていますが、ここは1.6%とそれ程悪いわけではない。他の項目に対しては大変満足・満足が少ないかなという印象ですけど、なぜ同じコメントなのですか。この理由についてよく見えてこないのですが、実際のヒアリングの印象ですか。

○事務局職員 確かに、高洲コミュニティセンターと数字を比較するとそのように感じますが、アンケート調査票の中にコメントの欄がありまして、こういった内容が記載されていたためです。

○横山委員 わかりました。では、そういうものに対して、やはり市は自主事業に対して「3」の評価をされているということですね。委員としてはやはり違和感があります。

○小野寺委員 違和感ありますね。

○横山委員 アンケート結果で満足度が低いと言っているにもかかわらず、市が評価す

るのか。

○事務局職員　このアンケート調査は、利用者であるサークルの方々を中心に配布しているものでして、実際、サークルの方たちが自主事業を使っていることがあまりないことから、不満の回答が多いものと考えられます。

○横山委員　それから、他区のことには言及して申しわけないですが、実際に色々と創意工夫して、実際のユーザーの意見も結構いいというふうな評価をされている指定管理者もいますので、そういうのと同列にしていいのか。ちなみに、そちらの指定管理者は、確かあまり高評価でなく、市の評価としては「2」だったと思います。そういった逆転が起きているのはどうかと思います。

○事務局職員　実際に自主事業に参加していただいた方々へは、3回目に改めてアンケートを行っており、回答からは満足度が高いことが伺えます。

○横山委員　わかりました。それから、高洲コミュニティセンターでも意見が出ましたが、障害者雇用の実績がありませんので、評価は「2」でよろしいかと思います。

○事務局職員　こちらは、高洲コミュニティセンターと同様に、委員の皆様の意見を反映し、評価を「3」→「2」へ変更いたします。

○横山委員　予算書と決算書で、旅費や賃借料が相当乖離していますよね。あまり変動が生じるような費目ではないと思いますが。

○小川部会長　そうですね。

○横山委員　やはり、最初に言いました計画策定能力が問題かと。経費の削減については、どうなのでしょう。

○小川部会長　事務局に質問ですが、高洲と真砂のコミュニティセンター両方でアンケートを実施して、予約方法と講座の未回答が高い比率ですが、それはどういう意味ですかね。サイレントマジョリティは何を言おうとしているのですかね。

○事務局職員　利用者であるサークルの方々を中心に配布しているものですので、やはり講座には参加していない方が多く、回答できないという理由があるかと思います。予約方法については、ご自身で予約せず、窓口で職員が代理受けをしている方々が一定数おられますので、その方たちの回答ではないかと思います。

○小川部会長　特に何か深刻な問題があるというわけではなさそうですね。

○横山委員　すみません、質問よろしいでしょうか。予約方法への不満が多いですが、これは指定管理者ではなく、市の問題ですよね。予約システム自体がユーザーにとっては満足いくものではないのではないのでしょうか。これは全市的に、どのコミュニティセンターのアンケート結果でも、不満が多いですね。

○事務局職員　そうですね。施設の利用者が60歳以上の方が多いので、パソコン自体が使えないという方もいらっしゃいますので。

○横山委員　いずれにしても、指定管理者の責任ではないという理解でよろしいですね。

○小川部会長　そうですね。現状把握せずに、トップダウンでやるからこうなるのでしょうか。

○事務局職員　そうですね。ただ、導入前から予約システムへの要望は高いものでしたし、便利になったというご意見もいただいております。

○小川部会長　高齢化が進むと、取り残される方は一定数いますからね。

- 事務局職員　　ですから、窓口やファクスでも受付は行っています。
- 三山委員　　ただ、期間が違いますよね。抽選予約後の先着予約は、パソコン予約はすぐ受けられますが、窓口予約は10時からでないといけませんよね。
- 事務局職員　　そうですね。パソコンは24時間受けができますが、窓口は開館時間内でしか受けられませんので。
- 三山委員　　その辺の不平等感は皆さん持ってらっしゃいます。
- 横山委員　　それは市の問題ですので、指定管理者は関係ないですよ。
- 小川部会長　　真砂コミュニティセンターの指定管理者を評価するならば、図書室ですよ。図書室では、寄贈も受け付けているということもさることながら、指定管理委託料から結構な金額を図書の購入にあててくださっています。
- そのように、指定管理者側で新刊図書を購入する、あるいは住民・利用者の方々から寄附を受け入れているという施設の運営のあり方は評価したいと思います。それが継続していることも評価したいと思います。年度で100万円ぐらいでしょうか。
- 事務局職員　　26年度は、図書の購入費が103万8,000円です。
- 横山委員　　司書はいないのですか。
- 事務局職員　　いらっしゃらないです。
- 横山委員　　図書の選定に関しては、先程、事務局から説明がありましたが、新聞等に掲載されている、ある程度ベストセラー的なものを購入しているのでしょうか。
- 事務局職員　　そうですね。
- 小川部会長　　その他、いかがでしょうか。
- 鶴岡委員　　高洲と真砂のコミュニティセンターを比べると、評価が大体似ていますが、その辺はバランスを考えているのでしょうか。
- 事務局職員　　はい。同じ指定管理者ということもありますし、所長同士が連携を図りながら運営しておりますので。
- 横山委員　　提供するサービスの水準は均質なのでしょうね。
- 小川部会長　　自主事業の中に「美浜区人財バンクの活用講座」がありますが、高洲コミュニティセンターでは実施していないのでしょうか。
- 事務局職員　　はい。今回は、区から真砂コミュニティセンターへ協力をお願いしました。こちらは、美浜区の主催事業として、区内で活動する知識・経験・特技のある方を活用して講座を開きました。自主事業のノウハウをお借りしたいということもあり、ご協力いただきました。
- 小野寺委員　　具体的にどんなことをやっていますか。
- 事務局職員　　ヨガ教室、料理教室、粘土細工教室、それから、親子によるものづくりなども開催しました。
- 小川部会長　　それは評判いいですか。
- 事務局職員　　はい。多くの方々に集まっていただきました。満員になった講座もありましたし、アンケート調査では、また開催してほしいという意見が多くありました。
- 小川部会長　　美浜区はその地域にはないものを導入しようという試みですね。
- 事務局職員　　特技・知識・経験を持った方々を生かして、区内の課題解決や地域の活性化につなげていこうといった取り組みです。

○小川部会長　なるほどね。他に似たような事業とかサークルとかがあって、競合したものはいいのですか。

○事務局職員　競合しないようには心がけました。また、参加者による新規サークルの設立につなげられればという思いもあり、今回真砂コミュニティセンターに協力していただきました。

○小川部会長　サークルづくりにつながるといいですよ。

○事務局職員　そうですね。

○白井美浜区長　そもそもの美浜区人財バンク事業は、知識・経験・特技を持った方の情報を単に区役所に登録するだけではなく、現在登録されている約50人の登録者を、サークルや地域、自治会などの市民団体で何かをする時に、非常に安い価格で紹介し、色々なことを教えてもらったり、講義をやってもらったりする目的があるのですが、なかなかそういう機会がないので、真砂コミュニティセンターの空いている時間帯を活用して、登録者に活躍の場を少しでも提供させることを主目的で実施しました。意外と応募は多くて、2月の1か月の間に全6講座実施しました。ですから、指定管理者の自主事業ではなく、部屋貸しなどの事業実施に協力していただいたというところです。

○小川部会長　それは美浜区独自の発想だったら興味深いなと思いました。そういう形で、地域性を考慮した行政との連携ができることは評価に値すると思います。

○白井美浜区長　結構色々な団体の登録はありますが、コーディネートして紹介したり、講師としてサークル活動を開いたり、そのような実施の例があまり無いので。

○小川部会長　そういうことは、行政が入らないと難しいですよ。それはもう行政と連携するからこそできるような話かなと。もしかすると、行政の方が向いているかもしれませんね。他にいかがでしょうか。

○小川部会長　今のところ、計画策定能力の妥当性と、評価するところであれば、図書室の献身的な運営と地域に寄附という文化を定着させようとする試みは評価に値するかなと思います。あとは行政との連携ですよ。

○横山委員　それから、利用者の増加と、収支の黒字ですよ。

○小川部会長　稼働率について言うならば、平成26年度の目標値が58.2%で、それを下回っていますが、利用人数は計画では8万3,000人が11万7,000人と増加しており、その合理的な根拠が見えませんね。

○横山委員　計画策定能力は疑問ですが、実際に実数としては増加していますよね。

○小川部会長　こちらは、計画上の稼働率は高目に設定しているのですか。22年度の74%という稼働率からあまり大きく下回らないようにしたのでしょね。

○白井美浜区長　コマの稼働率より、一つのコマを利用する人の数の方が増えてしまったということですよ。ですから、部屋の使われ方としてはあまり芳しくはなかったですね。

○横山委員　参考までに、これを計画されているのは職員の方でしょうけど、職員の方は市のOBの方でしょうか。

○小川部会長　市のOBは、代表取締役だけでしょう。

○事務局職員　OBは代表取締役と、あとは受付スタッフも何名かいらっしゃいます。

○横山委員　市の実情をご存じの方が計画策定しているのかと、聞きたかったのです。

○事務局職員　計画策定は、両施設の所長になります。所長は、市のOBではなく、株

式会社千葉マリンスタジアムの社員です。

○小川部会長 行政とは関係ないですよ。

○事務局職員 行政とは関係ありません。

○小川部会長 民間の方でしょう。

○事務局職員 そうです。

○横山委員 そうすると、逆に民間企業らしいアイデアの出し方ができなくはないはずですね。

○小川部会長 そうですね。一応それが大幅に乖離した自主事業の関係じゃないですかね。300万円になってしまった。これは今まで見た中で最高金額じゃないですか。

○横山委員 そうですね。1,000%は見たことがないです。

○小川部会長 よくここまで規模を大きくできたなど。この指定管理者は、もうノウハウがあるのでしょね。そもそも真砂コミュニティセンター自体がそれ程大規模じゃないですよ。

○事務局職員 そうですね。

○小川部会長 近くに区役所や保健福祉センターもありますから、そちらが充実していたら、こちらはそこまで独自でやるということはあまり必要性がないのかな。そういう理解でよろしいですかね。

○横山委員 資料6-1、5ページ「近隣施設との連携」ですが、ビル管理会社との連携や学校の職業体験を受入れがありますが、これはどういう経緯でしょうか。

○事務局職員 ビル管理は、建物を所有している一般財団法人千葉県まちづくり公社が行ってまして、そこが委託したビルの委託業者と連携をしているところです。

○横山委員 それは、項目の趣旨が違いますか。施設を盛り上げるために近隣施設と連携をしているかということでは。

○小川部会長 職業体験を受入れたとありますが、これは何年も続いているのですか。

○事務局職員 そうですね。高洲コミュニティセンターも同様に受入れています。

○横山委員 ポテンシャルはありますよね。中学校以上も受入れていますから。

○小川部会長 就業体験・職業体験で中・高生のキャリア教育をするということは、高パフォーマンスのような気がしないでもないですね。

○事務局職員 学校側からの希望があって、受入れをしています。

○小川部会長 真砂コミュニティセンターは、高洲コミュニティセンターに比べると若い方も利用しているという話を聞きましたが、利用実態はどうか。

○事務局職員 60歳以上がほとんどです。

○横山委員 アンケートからも読み取れますね

○事務局職員 はい。

○小川部会長 利用している方が必ずしもそちら側とは限らない。

○事務局職員 限らないですが、ただ圧倒的にその年代が多いですよ、このコミュニティセンターにしても、公民館、高齢者施設にしても。

○小川部会長 名画上映会で160人、来られたのですね。

○事務局職員 そうですね。

○鶴岡委員 利用料金制度は、いつからですか。

- 事務局職員 23年度の4月からです。
- 鶴岡委員 その影響は、やはりある程度ありますよね。
- 事務局職員 あります。稼働率が大幅に、両コミュニティセンターとも減っていますので。
- 鶴岡委員 22年度と比較すると、落ちていますね。それを考えると、年金生活者にも少しは影響あるのかなと思います。
- 横山委員 それは仕方がないですよ。市のポリシーとして、財政再建のために受益者負担ということで利用料を取るところですので。
- 小川部会長 利益の還元はありましたか。
- 事務局職員 還元はありませんでした。指定管理業務により得た総収入から消費税額を差し引いた額と、指定管理業務により支出した総費用から消費税額を差し引いた額の差に、法人税額等を差し引いた後の収益が100万円以上見込まれる場合、収益から100万円を引いた額の40%を還元することとなっています。また、税金は、住民税・法人税・外形標準課税・復興税を足して約52%です。
- 小川部会長 法人税と法人事業税以外にも、国税の分も考えるのですね。
- 鶴岡委員 非課税にはならないのでしょうか。
- 小野寺委員 株式会社ですので、免税適用とはなりませんね。
- 鶴岡委員 特殊な例として、例えばコミュニティ活動に寄与しているということでも、適用にはなりませんか。
- 小野寺委員 なりませんね。かなりその辺は厳格です。
- 事務局職員 税金がなければ100万円を超えますが。
- 小川部会長 全ての税金を考慮するのですね。
- 事務局職員 そうですね。
- 小野寺委員 ある意味、指定管理業務での利益が出て、会社が国や地方に払うことで循環していきますから、いいことではあります。
- 小川部会長 両コミュニティセンターは、それぞれ3人か4人ぐらいで回しているのですか。
- 事務局職員 常時いる方は4名ぐらいです。
- 小川部会長 他に何か意見等ございますか。

(なし)

- 小川部会長 それでは、先ほど出てきた意見を踏まえた上で、事務局とまとめていく方向にしたいと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

- 小川部会長 ありがとうございます。

次に総合評価について、ご審議いただきます。事務局から説明をお願いします。

- 事務局職員 それでは、総合評価について、ご説明いたします。

まず、資料7-1「指定管理者総合評価資料」をご覧ください。

「1 基本情報」と「2 管理運営状況」の「(1) 業務の概要」については、ご覧のとおりとなっております。

次に、「(2) 利用状況」の「①利用者数」及び「②稼働率」ですが、指定期間当初から

の推移について、表にまとめております。

利用者数は、各年度の計画数と比較し、実績が上回っており、年々増加しております。

次に、諸室の稼働率ですが、23年4月からの利用料金制度の導入及びそれに伴う利用方法の変更により、22年度と比較し、23年度の実績は低くなっております。

また、23年度以降につきましては、実績は計画を下回ってはおりますが、年々増加傾向にあります。これは、施設予約システムの導入など利用者サービスの向上に努めていることや、稼働率の低い諸室を利用し、多種多様な自主事業を展開していることによるものと考えられます。

2ページをご覧ください。

次に、「3 利用者意見への対応状況」ですが、従業員に対する苦情につきましては、都度、改善が図られるよう指導しております。

また、設備・運営への意見に対しては、利用者視点に立ち、迅速に、可能な限り要望に応えるよう対応しております。

3ページをご覧ください。

まず、「4 収支状況」の「(1) 過年度の収入・支出状況」ですが、収入においては、指定管理委託料は計画どおり、利用料金収入は計画額を下回っておりますが、年々増加傾向にあります。

支出においては、経費の削減に努め、指定管理業務に係る支出が計画額を下回ったことから、各年度の決算額は黒字となっております。

次に、「(2) 管理経費の縮減に係る取組み」についてですが、自主事業を効果的に実施するなど、稼働率向上の取組みにより、収入の増額を図りました。また、印刷を外注から直営としたことによる印刷製本費の抑制など、支出の削減に努めました。

次に、資料7-2「指定管理者総合評価シート」をご覧ください。

「1 基本情報」については、ご覧のとおりとなっております。

次に、「2 総合評価」の「(1) 過年度の管理運営業務に対する評価」ですが、2ページ中段の【評価の基準】をご覧ください。「S」は事業計画を超える実績・成果が認められたもの、「A」は概ね事業計画通りの実績・成果が認められたもの、「B」は事業計画通りの実績・成果が認められず、改善を要する事項があったものとしております。ここでは、評価を「S」としたものについて説明いたします。

1ページにお戻りください。

まず、評価項目「1 市民の平等な利用の確保 施設の適切な管理 その他市長が定める基準」の「(7) 市からの事業実施受託業務」については、まつり実行委員やボランティアスタッフとともに、掲示作品の制作に取り組むなど、地域と連携してコミュニティまつりに取り組み、仕様で定める水準を上回っていたため、評価をSとしました。

2ページをご覧ください。

評価項目「2 サービスの向上」の「(1) 利用者サービスの向上」については、図書室の開館時間を21時まで延長し、寄付の受入れや回転率の低い書籍を無償提供するなど、仕様で定める水準を上回っていたため、評価をSとしました。

評価項目「3 施設の効用の発揮・施設管理能力」の「(4) 自主事業の効果的な実施」については、利用者ニーズを考慮した事業や学びを意識した事業、多世代交流や新規サー

クルの設立を目的した事業を展開するなど、多種多様な事業を実施し、定着させたことから、仕様で定める水準を上回っていたため、評価をSとしました。

最後に、総合評価については、「概ね事業計画どおりの実績・成果が認められた」との判断し、Aとしました。以上でございます。

○小川部会長　ありがとうございます。

ただいま事務局から一通り説明をいただきまして、真砂コミュニティセンターの総合評価につきまして、評価案が示されましたが、まず初めに、この評価案の妥当性について、委員の皆様からご意見を頂戴したいと思います。ご質問も含めて、何かございましたら、お願いいたします。

○横山委員　意見としましては、毎年収支が黒字であり、利用者数の増加と稼働率の増加については評価したいと思います。ですが、計画策定能力の問題を再三指摘しておりますので、評価理由については違和感があります。表現を変えていただけると。

○小川部会長　あらかじめノウハウがあったのに、計画書を甘目に見積もっていた可能性は否めないの、合理的な説明が必要ですね。

○小野寺委員　多くの事業を実施したということのみに着眼して評価しているということですね。量的なところで計画を超えたということでしょう。

○小川部会長　25年度は、26年度以上に自主事業を実施していましたし、計画が甘めに作られているような気がします。

○横山委員　本当にそうですよね。

○鶴岡委員　両コミュニティセンターとも同じような文言で記載があるので、バランス的なことあるのしょうから、片一方を削ると、高洲コミュニティセンターも削らないといけない気がします。

それから、資料7-2「1 基本情報」の(5)駐車場管理業務ですが、真砂コミュニティセンターは複合施設で全体管理をしていないため、記載は不要ではないでしょうか。

○小川部会長　これ外しましょうか。

○鶴岡委員　その辺は部会長と相談して、検討してみてください。問題がなくても、その旨を書いていただければと思います。

○事務局職員　外すかどうか、検討いたします。

○小川部会長　真砂コミュニティセンターの利用者数は増えていきますし、高洲コミュニティセンターの伸び率と比べて高いですね。また、23年度以降、計画上の諸室の稼働率は下回っていますが、10%ほど上げていますね。これについては、事務局としてどのようなお考えでしょうか。

○事務局職員　それだけ、利用者目線に立った運営を行っていたということではないかと思えます。

○小川部会長　では次に、施設のサービス水準向上あるいは業務の効率化などの観点から、次期指定管理者の選定に向けての意見をいただきたいと思えます。委員の皆様から忌憚のないご意見をお聞きしたいと思います。いかがでしょうか。

○横山委員　部会長がおっしゃったことと同じですが、文化的な水準の向上に努められたいというところです。

○三山委員　それは入れるべきだと思います。

- 小川部会長 ありがとうございます。移転先に、図書室はありますか。
- 事務局職員 ございます。
- 小川部会長 では、そういった文化事業の充実にも力を入れてほしいというところで
す。
- 小川部会長 移転について、美浜区全体にアナウンスするのでしょうか。
- 事務局職員 はい、周知いたします。
- 小川部会長 移転に伴う、スイッチングコストが発生するので、その軽減に努められるような指定管理者を選定したいですね。
- 鶴岡委員 いつからオープンですか。
- 事務局職員 来年度の4月1日オープン予定です。
- 小川部会長 ご不便おかけする場合もあると思いますので、説明の充実が求められますね。
- 事務局職員 そうですね。
- 小川部会長 他に、いかがでしょうか。
- 横山部会長 新たな施設は、教室をそのまま使うということですよ。
- 事務局職員 できる限り既存の施設を利用し、最低限の改修としています。
- 横山部会長 その施設の特性に合ったサービスをぜひ提供していただきたい。
- 事務局職員 部屋自体も広くなる方が多いですし、個数も今の10部屋から18部屋に増えます。
- 小川部会長 利用料金はどうなりますか。
- 事務局職員 平米単価となります。
- 横山部会長 それは条例で決まっている話ですよ。
- 事務局職員 そうです。
- 三山委員 全体がコミュニティセンターですか。複合施設ですか。
- 事務局職員 1階に障害福祉サービス事業所が入りますし、校庭には特別養護老人ホームが建設予定です。また、体育館もあります。
- 三山委員 体育館は、プールの跡ですか。
- 事務局職員 プールの跡は駐車場になります。既存の体育館を改修し、利用します。
- 鶴岡委員 体育施設ができると、その管理も必要になりますね。
- 事務局職員 そうです。
- 小川部会長 やはり、これまでのサービスでよいものは残し、さらに新たな施設に見合ったサービスの提供をお願いしたいです。
- 小川部会長 以上の意見を取りまとめる形でよろしいですか。

(異議なし)

- 小川部会長 ありがとうございます。

それでは、これらを踏まえて、千葉市美浜区真砂コミュニティセンターの指定管理者の行った施設管理に係る総合評価について、本部会としての意見をまとめていくこととなります。詳細については、私と事務局で調整する形でご承認いただければと思います。

(異議なし)

- 小川部会長 事務局におかれましては、委員の皆様から示された意見を、次期指定管理

者の選定の際に十分反映していただきたいと思えます。

以上で、指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価及び総合評価についての審議は終了します。

次に、議題3の「今後の予定について」、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局職員 今後の予定についてご説明させていただきます。

本日、委員の皆様よりいただきましたご意見等につきましては、小川部会長さんから選定評価委員会の横山会長さんにご報告をいただき、その後、横山会長さんから市長あてに、委員会の意見として答申をしていただくという流れになります。

この委員会の答申を受けまして、事務局が、委員会のご意見を指定管理者評価シートに記載し、9月上旬までに、市ホームページに掲載し公表するとともに、指定管理者へ通知いたします。

同様に、部会の会議録及び委員会会長からの答申につきましても、同市ホームページにて公表することとなります。公表の時期等が決まり次第、委員のみなさまにはご報告させていただきます。

なお、今回の部会の会議録につきましては、後日、委員の皆様にご確認をお願いしたいと考えておりますので、よろしくをお願いいたします。

また、次回の部会の開催日程等の詳細につきましては、委員の皆様へ、事務局より改めてご連絡いたします。

以上でございます。

○小川部会長 只今の事務局からの説明について、何か質問、ご意見等はございますか。

(なし)

○小川部会長 それでは、最後に議題4「その他」についてですが、委員の皆様からご質問はございますか。

(なし)

○小川部会長 ありがとうございます。

委員の皆様方のご協力によりまして、本日の議事は全て終了しました。ありがとうございました。

それでは、事務局にお返しいたします。

○事務局職員 本日は長時間にわたり、慎重なご審議ありがとうございました。

以上をもちまして、平成27年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回美浜区役所部会を閉会いたします。本日はお忙しい中、ありがとうございました。